

健康サポート薬局 情報発信の取組み スマート ライフロング プログラム

健康サポート薬局 活動報告

申請日: 2020 年 9 月 24 日

申請企業名	株式会社アイセイ薬局
開催店舗名	アイセイ薬局 明石台店
店舗住所	宮城県富谷市明石台6丁目1-20
催事名	健康セミナー お薬の飲み方(婦人科)について
開催日	2020 年 9 月 17 日
催事内容	<p>テーマ:授乳中、妊娠中のお薬について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授乳中の薬について <ul style="list-style-type: none"> ・お薬の母乳移行について ・母乳栄養の利点 ・授乳とお薬の服用については、自己判断せずに相談を ○服薬の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・花粉症の場合、点鼻薬、点眼薬と局所で効くもの(用量も少なくすむ) ・風邪薬を服用期間(3~4日間程度)はミルクに切り替える ・お薬を服用開始前に、搾乳をして冷凍保管する ・お薬の作用時間が短いものを選ぶこともある ○授乳中のサプリメント <ul style="list-style-type: none"> ・水溶性ビタミン剤(ビタミンB群、C)は影響が少ないとされている ・脂溶性ビタミン(A,D,E,K)は体内に蓄積しやすい。母乳移行だけでなく、大人でも1日に服用できる量が決められている ○妊娠中の薬について <ul style="list-style-type: none"> ・胎児への影響を考慮し、原則服用をしないことが望ましい ・母体が糖尿病や高血圧など治療を欠かせない場合もあり、かかりつけの病院だけでなく産婦人科医にも治療方法を確認する ○質疑応答 <p>Q:これから寒くなると喘息症状でやすくなる。授乳中でも吸入薬は使えますか</p> <p>A:喘息発作時の吸入薬は、気管支拡張薬の吸入薬やステロイドの吸入薬などがあります。いずれの成分もお母さま自身の血液中に吸収される量が非常に少なくなります。母乳移行する薬の量はさらに少なく、ごくわずかなので、お子さんに影響する可能性は低いと考えられます。</p>
活動写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="386 1547 780 1917">  <p style="text-align: center;">セミナー開催告知</p> </div> <div data-bbox="799 1547 1469 1917">  <p style="text-align: center;">セミナー-演者</p> <p style="text-align: center;">参加者</p> </div> </div>